



平成
19
年度

2007

財団の会館建設計画も多気町のご協力により公園南エリア造成地に土地3,028㎡を取得して10月に地鎮祭を行い12月に大木建設・中谷建設特定建設工事共同企業体により着工する。

ハード面の助成事業として、軽自動車4台と各種車椅子・エアーマット等備品の寄贈を行い吉田逸郎理事長より目録と備品を贈呈した。

記念講演では、「企業戦略としての顧客満足」題してトークトリー柏木はるみ会長を講師に迎え記念講演を開催した。

ソフト面の研修事業として、介護施設職員の更なる資質向上を図るため介護施設職員の接遇研修、リーダー養成と施設での問題点の洗い出しを行う研修等4回の研修会に82施設113名の参加を得て実施した。

老人福祉団体運営活動事業では、吉田福祉基金杯ゲートボール大会も10回目を迎え吉田逸郎理事長を迎え役員、来賓、選手450名が参加して盛大に開催する。

国内を見ますと、4月15日午後零時19分ごろ、三重県中部を震源とするM5.4と推定される地震があり亀山市で震度5強、津市・鈴鹿市・伊賀市で震度5弱、多気町も震度4を記録したが被害は無かった模様、1923年の観測開始以来県内で初めての震度5強を記録した。

被害は重軽傷者12人と天井落下や城址跡の石垣崩落等県内各地から被害が報告された。

7月16日午前10時13分ごろ、新潟県上中越沖を震源とするM6.8と推定される地震があり新潟県柏崎市、長岡市、刈羽村、長野県飯綱町で震度6

強を記録し、新潟県、長野県、東北から関東、東海と広い範囲で震度3以上を観測し、死者も10人を数え大半が70歳以上のお年寄りが犠牲とをなり1000人以上の負傷者を出した震災で東京電力柏崎刈羽原子力発電所では火災が発生し放射能漏れもでて市当局から発電中止の勧告が出され原発のありかたが問われる震災となった、平成16年にも新潟県中越地震があり長岡市や山古志村で多くの死傷者を出し復興したばかりの家屋にも被害を被り三年前の悪夢が脳裏をよぎった住民も多くいたのではないかと。

7月29日の第21回参議院選挙では自民党が結党以来、歴史的な大敗を喫し参議院の第一党を民主党に明けわたすこととなる。

平成19年度助成事業目録贈呈式



吉田逸郎理事長挨拶



記念講演



寄贈品並びに目録贈呈



贈呈式

老人福祉施設等整備事業(助成・寄贈)

4,471,550円

平成19年度
寄贈品
一覧



軽自動車／4台



自走式・介助用車椅子／55台



フルクライニング車椅子／9台



マイチルト車椅子／3台



エアーマット／9台

近 隣

- ・松阪市
- ・伊勢市
- ・多気郡
- ・度会郡

各老人福祉施設

老人福祉環境整備事業

2,387,800円

施設サービス向上のための増車と老朽化による更新

◆ 軽自動車施設 3台

- 宮川福祉施設組合（特養 やまびこ荘）
- （社）斎宮会（老保 みずほの里）
- （社）南伊勢町社会福祉協議会（訪問介護 南勢支所）

老朽化による更新・学校の総合学習・福祉教育や貸し出し加齢及び介護度の高い利用者の増加に伴い一般車椅子では対応が困難なため身体状況に対応できる車椅子が必要な利用者の増加による整備

◆ 自走式介助用車椅子 1施設 5台

- （社）愛恵会（老保 緑風苑）

◆ フリクライニング車椅子 2施設 2台

- （社）長寿会（短期 なでしこ苑）
- （社）北斗会（特養 大宮園）

◆ マイチルト車椅子 1施設 1台

- （社）太陽の里（特養 第2まごころ苑）

褥創予防の改善と利用者の増加に伴う新設・整備

◆ エアーマット 6施設 6台

- （社）松阪市社会福祉協議会（デイ 嬉野支所）
- （社）三重高齢者福祉会（老保 協和苑）
- （社）ゆ り（老保 はなのその）
- （社）三重豊生会（特養 多気採幸）
- （恩）三重県済生会（特養 明和苑）
- 玉城町（老保 ケアハイツ玉城）

左記以外の
県下各市町の
老人福祉施設

老人福祉環境整備事業

2,083,750円

10年以上使用し耐用年数を超えての整備

◆ 軽自動車 1施設 1台

(社) 志摩市社会福祉協議会(訪問介護 サンライフあご)

福祉体験教室及び車椅子利用者の増加による不足と老朽化による更新

◆ 自走式介助用車椅子 11施設 50台

(社) 津市社会福祉協議会(デイ 美杉支所) 5台

(社) 東員町社会福祉協議会(貸出) 5台

(社) ウエルケア(デイ サポート) 5台

(社) 青松園(特養 青松園) 5台

(社) 博愛会(特養 ルーエハイム) 5台

(社) グリーンセンター福祉会(老保 グリーンピア名張) 5台

(社) 恵成会(特養 おおぞら) 5台

(医) 永井病院(医療 療養型) 5台

(医) 福慈会(老保 おくにし) 5台

(社) 菰野町社会福祉協議会(貸出) 3台

(社) 徳寿会(老保 みのりの里) 2台

◆ フルリクライニング車椅子 7施設 7台

(社) 翠明院(養護 翠明院)

(社) 風薫会(特養 風の路)

(社) 慈童会(特養 くすのき園)

(社) 宏育会(特養 よっかいち諧朋苑)

(社) 敬親会(特養 さわやか園)

(社) いがほくぶ(特養 彩四季)

(社) エイジハウス(特養 エイジハウス)

◆ マイチルト車椅子 2施設 2台

(社) 天年会(特養 かなしょうず園)

(社) 安全福祉会(特養 安全の里)

褥創予防を必要とする利用者の増加に伴う整備

◆ エアーマット 3施設 3台

(社) 川越町社会福祉協議会(デイ)

(社) 永甲会(特養 うねめの里)

(医) 暁純会(医療 療養型)

第1回 介護施設職員接遇研修会（3年未満）（7）

（参加 18施設 28名）6月28日

法人（長茂会・多気町社協・ウエルケア・永甲会・杏南会・松阪市社協・伊勢医心会・度会町社協・明和町社協・三重高齢者福祉会・三重豊生会・斎宮会・吉創会・ゆり・大紀町社協・三重県済生会）

施設経験3年未満の新人を対象にした、お客様や家族を迎える基本マナーや来客・訪問者の対応、応接の基本動作等一般的な接遇研修となります。



講演 “心のサービス” 介護従事者の接遇マナー

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. 社会人としての心構え
2. お客様を迎えるマナー
3. 社会的な言葉づかい
4. 応接の基本動作
5. 来客・訪問の対応
6. ビジネス電話対応
7. サービスの心得

受講生の感想

言葉遣いの難しさ、感謝・笑顔の大切さ、相手の顔が見えない電話での受け答え等実践を取り入れた研修内容で充実した研修であったとの感想が聞かれました。

第2回 介護施設職員接遇研修会（4年以上）（8）

（参加 23施設 30名）7月26日

法人（長茂会・多気町社協・ウエルケア・明和町社協・杏南会・松阪市社協・度会町社協・伊勢医心会・志摩広域行政組合・斎宮会・三重豊生会・吉創会・宮川福祉施設組合・ゆり・紀南特養ホーム組合・菊寿会・暁純会・北斗会）

施設経験4年以上を対象にした指導的な立場の職員が多く受講しておりこれまでの接遇研修の中では一番熱心に講義を受けグループ討議の中でも積極的に意見を述べ各班のチームワークが取れていた。



講演 “心のサービス” 介護従事者の接遇マナー

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. お客様の満足とは
2. 利用者への話し方
3. コミュニケーション
4. 利用者宅への訪問対応
5. 信頼される電話対応
6. サービスの6Sと3F

受講生の感想

チームワークの大切さ、笑顔・明るさの必要性、挨拶・声かけの大切さが勉強になったとの意見が寄せられた。

第3回 介護施設中堅リーダー研修会（2）

（参加 23施設 30名）9月27日

法人（大紀町社協・川越町社協・ウエルケア・長茂会・度会町社協・玉城町社協・宮川福祉施設組合・杏南会・こもはら福祉会・エイジハウス・いがほくぶ・福寿会・安全福祉会・熊野市社協・永井病院・松阪市社協・障純会・北斗会・青藍会・大台町社協）

セミナーの主役は、「あなた」です、介護施設における職員の中で中堅職員やリーダーの占める割合は大きくなります。

利用者が施設を選ぶ時代になり、人を動かすリーダーシップを発揮していく職員の養成、職場の中でも部下に対して「期待」「関心」を持ち、成長に必要なポイントにきずかせ自己啓発をさせ成長を促し部下の指導をしていく上で特に必要になるコーチング技術の習得を目的とした研修であります。



講演 “中堅リーダーなど” コーチング技術の研修

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. リーダーの心得
2. チームワークの大切さ
3. コーチングの実践
4. 答えを引き出す要領
5. コーチングの実践

受講生の感想

指導する際の適切な会話法の体験、対話を通して能力を引き出すコーチングの実践、組織をまとめるリーダーの心構えを学びとり、コミュニケーションがサービスの向上につながることの重要性を学んだ。

第4回 介護職場の課題解決研修会（2）

（参加 18施設 25名）10月25日

法人（大紀町社協・ウエルケア・斎宮会・北斗会・度会町社協・玉城町社協・大台町社協・宮川福祉施設組合・杏南会・名張厚生協会・こもはら福祉会・いがほくぶ・永井病院・三重高齢者福祉会・松阪市社協・障純会・青藍会）

職場には、いろいろな問題が発生します、その問題を放っておくと段々と大きくなり取り返しのつかない状況に追い込まれます、解決をしていくには、どのような手段・方法を使えば有効的かつ効率的な改善ができるか、福祉施設での問題点の把握と着眼点を洗い出しサービスの質の向上や問題の解決を図っていく手段である、QC7つの手法で特性要因図に表し問題点の解決の対策をたてやすくする。



講演 課題解決のスキル向上研修

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. 職場のサービス品質向上
3. 課題解決の進め方
4. 職場の問題点の発見
5. QC手法の実践（書き方・作り方）
6. 課題解決の発表

受講生の感想

問題に取り組む意欲のきっかけになれば。

老人福祉団体運営活動事業

140,473円

第10回吉田福祉基金杯GB大会

後援（財）吉田福祉基金 6月3日

前日からの雨で大会を開催する多気町勤労者スポーツセンターものあちこちに水溜りが残り肌寒い日となりましたが、節目の大会で会場には当財団の理事長を始め県下72チームから450名の役員、選手が参加し記念大会を盛り上げ、選手たちは悪コンディションのなか、真剣にプレーをしチーム間の融和を図りながら和気あいあいに開催する

優勝 伊賀オールズ（伊賀市）チーム
 準優勝 あじさい（伊賀市）チーム
 3位 若宮（亀山市）チーム



吉田逸郎大会名誉会長挨拶



長谷川順一大会会長挨拶



開会式



大会競技



優勝 伊賀オールズ（伊賀市）チーム